

全国中学校総合文化祭に美術作品を出展

26日(火)、日課程生徒の美術科の授業では、美術作品の制作が行われた。8月24日(金)、25日(土)にアルカス佐世保で、第13回長崎県中学校総合文化祭(以下、中文祭)が開催されることを受け、計5回の授業で制作している。

今大会は、第18回全国中学校総合文化祭も兼ねており、全国から多数の中学生が佐世保を訪れる。各校からは、様々な演劇や、舞踊、郷土芸能などが披露され、県内外中学生の美術作品なども多数展示される。

作品テーマは「春の花」

今回の授業のテーマは、「形のイメージをもとう」英字新聞を縦長にちぎって「花の葉」の形の台紙に貼る作業を行った。これは最終的に、春をイメージした「花」になり、中文祭に出展される。本番ではどのような「花」が咲き誇るのか、大いに期待したい。



台紙にのりを塗る生徒



作品制作に一生懸命な生徒



委員会活動に取り組んでいます。

27日(水)、中学部では、あたご部門の中学部生徒と合同による生徒会委員会活動の授業に取り組んだ。本校中学部には、広報・図書委員会、美化・保健委員会の2種類の委員会活動がある。この日は広報・図書委員会の生徒らが本を所定の位置に戻したり、図書室の清掃活動に取り組んだ。



みんなに「おすすめ」の本を借りました。

修学旅行に向けた学習着々と

7月5日(木)からの修学旅行に向けた学習が行われている。旅先の福岡では班別行動があり、RKB毎日放送と、福岡タワーの2か所へ行く予定だ。29日(金)は班ごとに授業が行われた。各班は、放送局の仕事内容を本やタブレットで調べたり、歌に合わせて福岡タワーの姿を体で表現したりするなどしていた。旅行当日が晴天で生徒たちにとって楽しい思い出となることを期待したい。



テレビ局について説明を聞く生徒



全身で福岡タワーの形を表現する生徒